ルンルンみかルん

デイケア

『ラダーゲッター』

デイケアで盛り上がっているレクスポーツを紹介。今月紹介するのは「ラダーゲッター」。ひもでつながったゴムボールを投げ、はしごにひっかかったゴムボールの数で点数を競うゲーム。ゲームで使う道具はすべてスタッフによる手作りである。苦労して作ったにも関わらず、このスポーツを苦手とするスタッフは多い。何でも器用にこなす門脇作業療法士もそのひとりで、「何度挑戦しても上達しないんですよ～。メンバーにかっこいいところ見せたいんですけどね」と嘆いている。幅広い年齢層が行えるレクスポーツとして現在多くの利用者に楽しまれている。

ゴムボールの予測できない動きがおもしろいです！

デイケア

スタッフ推薦図書

「みなさんにとって『しあわせ』って何ですか？しあわせのカタチは多様ですが、その原点に立ち返らせてくれるような心温まる絵本です。」本田仁美精神保健福祉士おすすめの「いちばんしあわせなおくりもの」はデイケアで読むことができます。

わたしも、しあわせですよ～♥

デイケア

『花火で夏気分』

8月13日（木）ナイトケアでしか行えないプログラム「手持ち花火大会」が行われた。メンバーらは思い思いに花火を手に取り、夏のひと時を楽しんだ。参加者らは「童心に帰った気分。結構、運動にもなる」と額の汗を拭いながら感想を話されていた。

スタッフも勉強になります

わたしの力作

西病棟の入院患者さんを対象に週2回OT活動で創作を行っている。今回は参加者のIさんがこれまで作った革細工の作品を披露してくれた。

リップケースや折財布、ポシェット等オリジナリティ溢れる作品の数々はクオリティも高く病棟スタッフの間でも話題になっている。その他にもトートバッグやポーチ、ペットボトルホルダー等の作品もあり実用性も抜群だ。

体全身花火の匂いがしみつきました

羅笑門（前回の続き）

M　4つ目は、職員旅行の計画と運用です。毎年、我々が中心となって、行き先・時期を好きに考えています。そうしないとみんなが楽しめないですもんね

Q　自由…。そしてこの寛容さ…。

組合でもなく、委員会でここまでの理念をもっている組織！聞いている噂は概ね事実だと確信できました。

M　……。

Q　みんなも目の当たりにした通り、ここまでの組織（結社）は、この病院の中枢のさらに中枢にいることが十分分かると思う。

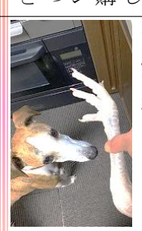
―某国の元大統領の言葉に、「**すべての物事には裏がある。賭けてもいい…**」ってあるけど、まさにそれを表しているよね？信じるか信じないかはあなた次第です！

養親会メンバーと思われる男性の食事風景・・・美味しそうに頬張っている。

◆ステイホームで何してた？③

今月もスタッフのステイホーム期間の家での過ごし方をのぞき見。

「かわいいうちの子『ダイヤ君』の日常動画を撮っていました」と話すのは西病棟の小山登希江係長。タッキーフーズ（養南病院近郊で営業している鳥の直売所）で購入した、名古屋コーチンのモミジ（鶏足）をめぐって繰り広げられる愛犬とのやり取りをTikTokにアップしたところ280万回以上も再生されているらしい。「どの動画もかわいいはずなのにこの動画だけがバズるのはおかしい」と首をかしげる。どんな動画か気になる人はハッシュタグ『ウイペット』で検索してみてね。



見方によっては閲覧注意です

GSC通信⑤

はじめまして。栄養士の松田麻恵です。ここ「ぎふストレスケアクリニック」ではデイケアやリワークをやっているので、もちろんお昼は給食が出ます。本院の給食はなかなかに美味しいと評判だけど、うちも負けてませんからね。今月の目玉は28日の「ミステリー献立」。何が出されるか分からない。否、何が出てきても文句を言わさない。そう、真実はいつもひとつ！

「考えるのが面倒だった訳じゃないのよ！」

◆休刊のお知らせ

新型コロナウイルスの影響（ネタがない…）により、次号はお休みさせていただきます。読者の皆さんにはご理解を賜りますよう…。

「恐縮で―す」

◆関谷院長に公衆衛生表彰

このたび関谷道晴院長に、西濃地域公衆衛生協議会より表彰状が贈られた。これは多年にわたり公衆衛生の向上発展に尽力したことが認められたもの。これを受け関谷院長は「こういうので、もっと年取ってから貰う物かと。いやもうそこそこ年なのか…」と老眼鏡を片手に寂しそうに呟いた。

おいでんさい祭も中止に

夏祭りに続いて

コロナの渦は養南病院秋の風物詩をも呑み込んだ。岐阜県が県独自の「第2波非常事態宣言」を発令するなど感染拡大は今も続いている。これを受け8月の運営会議ではついに養南病院名物である「おいでんさい祭」の中止を決定せざるを得なくなった。

こんなステージが見られるようになるのはいつの日か…

「おいでんさい祭」は平成11年に始まり今年が22回目。近隣住民との触れ合いを大切にしており、毎年約800人が訪れる養南病院きってのビッグイベントとして知られている。フリーマーケットや多くの屋台、さらには盛りだくさんのステージイベントなどが催され、楽しみにしている患者さんも多い。

養南新聞

発行所
社会医療法人緑峰会
養南病院
〒503-0401
海津市南濃町津屋1508
☎〈0584〉57-2511
Fax〈0584〉57-2513
http://www.younan.or.jp
younan@ogaki-tv.ne.jp

ぎふストレスケアクリニック
〒500-8345
岐阜市菊地町2-41
☎058-274-9600

今年運営委員長を務める予定だった神崎順次さん（49）は「本当に残念。何が残念って、私のギターを披露する場が無くなってしまった」と身勝手なコメントを寄せた。

密は避けられないか…

◆勉強会①

7月13日（月）、「外来栄養指導について　現状と症例」と題した勉強会が催された。栄養課の丸山一代課長は、「栄養指導はかなりの長期戦になることが多く、確実な効果を出すことは難しいが、無理をせずできることから少しずつ継続していくことが大切」と語った。

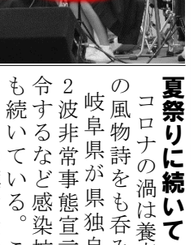
みかルんの病院ミシュランガイド「プログラマー UGO」

地域支援課の訪問看護師水谷（旧姓：宇越）和夫さんが、このたび凄いプログラムを開発したような。何つくったの？

「新規の患者さんが増えて記録も大忙しな上に、アナログなスタッフが多くてですね。そこでボク、入力ミスを検出するようPCのプログラミングをしたんですよ」

病棟でも数多くの自動化ツールを作成したと聞いたような！

「その名も『ウゴシステム』。でも、病棟を離れてもなおメンテに呼ばれるので辛いです…」



記事作成も自動化したい

かえって仕事が増えて意味ないような…。だれでも扱えるように再開発を期待したいような。

今回の期待度　星2つ★★

「食のこだわり」

私は調理師の髙井美依。今日も後輩の日置麻由佳さんを猛特訓中。

とはいえ、頭ごなしに否定するのは教育として良くないよね。

髙井「今日はもうすぐ出るサンマーメンの作り方を教えるね！」

日置「もう秋ですもんね！」

髙「？」

日「サンマは焼きますか？煮ますか？」

髙「…その発想は悪くないだろう。日置さんサンマーメン知ってる？」

日「わからないけど名前からしてサンマ使うかなって」

髙「OK！ちなみにタコライスは？」

日「タコはぶつ切りですか？スライスですか？」

髙「うーん、そういう料理もないとは言い切れない」

安田「サンマーメンは野菜たっぷりのラーメンでサンマは入ってないし、タコライスはタコスの具を使った沖縄料理！髙井さん、ちゃんと教えてあげて！」

しまった。怒られた。髙「時を戻そう。後輩の教育って難しい…。」

ノリツッコまない教育方針

◆勉強会②

7月27日（月）、「ストレングスを生かして社会復帰した事例」と題した勉強会が行われた。地域支援課の林真由美看護師は「利用者さんとのかかわりの中でストレングスを見出し、リカバリーに繋げることが大切」と話した。

◆コロナ&熱中症対策

岐阜県独自の第2波非常事態宣言を受け、当院では更なるコロナ対策を考案。その一つとして待合が密にならないように屋外のスペースを臨時の待合室とし、熱中症対策としてミスト扇風機を設置。混雑が予想される土曜日の診察前に総務課の渡邊係長と北嶋主任が汗にまみれながら組み立てた。渡邊係長は「組み立て作業は困難を極めましたが、少しでも患者様が安心して受診していただけるようにしたい」と話した。

「汗かミストか分かりません。」